

コメツブツメクサ (米粒詰草)

名前の意味：^{いみ}米粒は小さいことを意味する。シロツメクサと比べて花が小さいから。^つ詰め草は、オランダからガラス器具など^{こわ}壊れやすい物を運ぶ時、パッキングとして利用され、それから^{めば}芽生えたために名付けられた。

分類：双子葉類、マメ科、シャジクソウ属

(マメ科の^{さいばいしょくぶつ}栽培植物：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ、西アジア

特徴：はう^{くき}茎、3枚に分かれた葉、丸くあつまった、たくさんの黄色い小さな花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：^{りべん}離弁、5枚

花の時期：5－6月

食べ方：食べられない。

見分け方：シロツメクサやアカツメクサとは、花が黄色くて小さいことから区別できる。コメツブウマゴヤシとは、果実が小さなサヤエンドウのように見えることで区別できる。コメツブウマゴヤシの実はドーナツを半分にした三日月のような形。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)